

## 医師は「地域の放射能の健康影響」をどう考え、一個人として行動しているか？

### (関東1都6県)調査報告書 医師のコメント編 ～神奈川県版～

※各医師のコメントには、科学的根拠に基づかない個人的意見も含まれます。また「風評被害」「経済停滞」「政治」といった地域の健康問題と直接関係しない記述などを削除したり、文章の一部を改変している場合があります。

※放射能汚染状況、放射線測定や除染状況は日々変化をしています。以下のコメントは2011年7月現在のものですので、ご注意ください。

#### 神奈川県 医師(男性/30歳)

地域の「具体的な放射線量」は…

いくつなのか、知らない。

実際の健康被害は…

あまり心配はしていない。

自分の家族に話していることは…

特にない。

心配なことは…

メディアでの報道が、放射線の単位を統一せず報道したり、報道内容におおげさなものが多いため、レントゲン検査すら警戒してしまう患者が増えた  
放射能に神経質になり過ぎている人の方が多いと思う。

#### 神奈川県 医師(女性/32歳)

地域の「具体的な放射線量」は…

おおむね知っている。

実際の健康被害は…

とても心配だ。

自分の家族に話していることは…

なるべく放射性物質が付着しているであろうもの、放射線量が確認されたものは摂取しないようにする。放射線量が確認された場所に長時間滞在しない。

心配なことは…

なし。もっと敏感になるべき。しかし、結局は自己責任だとも思う。気にならない人や高齢者は気にする必要ないし、注意も特にしない。  
放射能への関心が低過ぎる人の方が多いと思う。

#### 神奈川県 医師(男性/43歳)

地域の「具体的な放射線量」は…

いくつなのか、知らない。

実際の健康被害は…

あまり心配はしていない。

自分の家族に話していることは…

法定基準値を超えるものや場所にかかわらないこと。

心配なことは…

たまにやたらとガイガーカウンターをチェックしている人がいて、見苦しい。  
放射能に神経質になり過ぎている人の方が多いと思う。

### 神奈川県 医師(男性/47歳)

地域の「具体的な放射線量」は…

おおむね知っている。

実際の健康被害は…

あまり心配はしていない。

自分の家族に話していることは…

特にない。

心配なことは…

特に実感している訳ではないが、様々な制限・自粛の前に「原子力発電＝罪悪」のような風潮ですが、震災前まではこれなしには生活できない環境にあったにもかかわらず、あたかも今は「不要」と言ったかんじの発言の数々…、どうなっているのでしょうか？

放射能に神経質になり過ぎている人の方が多いと思う。

### 神奈川県 医師(男性/48歳)

地域の「具体的な放射線量」は…

いくつなのか、知らない。

実際の健康被害は…

少し心配している。

自分の家族に話していることは…

家族分の放射能防護服を用意しているので、放射能が許容レベル以上になった時には、それを着て避難するように言っている。

心配なことは…

なんの時にでもそうだが、パニック障害のようになる人が多い。また、放射能の問題に敏感になっていることから、他の健康問題にも敏感になり、いらぬ心配をしてクリニックに受診してくる人が多く、いくら大丈夫であることを説明しても納得しないので、非常に困る。

放射能に神経質になり過ぎている人の方が多いと思う。

### 神奈川県 医師(男性/50歳)

地域の「具体的な放射線量」は…

変動を時々チェックしている。

実際の健康被害は…

とても心配だ。

自分の家族に話していることは…

東北地方の物は食べないように。今回の牛肉のようにすり抜けて汚染されたものは出回っているから危険。基準値以下でも以前よりも高いなら食べない方が良い。

心配なことは…

もっと敏感でいいと思う。実際に以前よりも放射線レベルが高いなら、「以前よりも高い」と言うべき。たとえば愛知県産が0.1で福島産が0.5なら誰だって愛知県産を買うでしょう。「基準値以下」とか「健康被害はない」とかあいまいな表現は止めるべき。微量でも体内蓄積から体内被曝につながる可能性もあり、環境ホルモンのように生殖能力などに影響が出る可能性は否定できないと思う。海外から東京-福島を見たら極近く、もっと厳しくしないと世界的に東京(日本)が衰退すると思う。キビシイようだが、福島県には援助などして全県移転、土地的には廃絶すべき。

放射能への関心が低過ぎる人の方が多いと思う。

### 神奈川県 医師(男性/52歳)

**地域の「具体的な放射線量」は…**

おおむね知っている。

**実際の健康被害は…**

あまり心配はしていない。

**自分の家族に話していることは…**

特にない。

**心配なことは…**

通常の人体内の放射線カリウム量より低い数値がわずかに検出されたと、「市民運動家」と称する人たちが不安を煽るのは、知識の低さを露呈しているにもかかわらず、国民の不安をさらに増加させるだけ。放射能に神経質になり過ぎている人の方が多いと思う。

### 神奈川県 医師(男性/52歳)

**地域の「具体的な放射線量」は…**

変動は時々チェックしている。

**実際の健康被害は…**

あまり心配はしていない。

**自分の家族に話していることは…**

爆発して1カ月は雨に塗れぬように指導

**心配なことは…**

放射能ノイローゼの人が多すぎる。今の状態より40～50年前はもっと放射線が高かった。放射能恐怖を煽っている学者・マスコミが悪い。放射能に神経質になり過ぎている人の方が多いと思う。

### 神奈川県 医師(男性/53歳)

**地域の「具体的な放射線量」は…**

変動を時々チェックしている。

**実際の健康被害は…**

少し心配している。

**自分の家族に話していることは…**

流れている情報のうち、一番深刻なものを信用する。

**心配なことは…**

たとえば‘この野菜から放射能が検出された。その野菜をこのように洗浄してこのように調理し、これだけ摂取したら、これだけの内部被曝の危険がある’と具体的に示してほしい。

## 神奈川県 医師(男性/59歳)

**地域の「具体的な放射線量」は…**

いくつなのか、知らない。

**実際の健康被害は…**

あまり心配はしていない。

**自分の家族に話していることは…**

特にない。

**心配なことは…**

校庭の汚染度除去は土壌の上と下を入れ替えればすむが、これを嫌い表土を校庭の隅に山積みに行っている。こうの方がよほどおせんを受けやすいと思う。「どこかへ持って行ってほしい」というのは汚染を移動してほしいといっているに過ぎず解決にならない。

放射能に神経質になり過ぎている人の方が多いと思う。